患者向医薬品ガイド

2024年10月更新

ジソピラミド徐放錠150mg「VTRS」

【この薬は？】

販売名	ジソピラミド徐放錠150mg「VTRS」 DISOPYRAMIDE Sustained-release Tablets
一般名	リン酸ジソピラミド Disopyramide phosphate
含有量 (1錠中)	リン酸ジソピラミド 193.5mg (ジソピラミドとして150mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、不整脈治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、心臓に作用し心臓の異常な興奮を抑えて、脈の乱れを整えます。
・次の病気の人に処方されます。
下記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合
頻脈性不整脈
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・高度の房室ブロック、高度の洞房ブロックのある人
・うっ血性の心不全のある人
・透析している人を含む腎臓に重篤な障害のある人
・肝臓に高度な障害のある人
・スパルフロキサシン、モキシフロキサシン塩酸塩、ラスクフロキサシン塩酸塩（注射剤）、トレミフェンクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、アミオダロン塩酸塩（注射剤）、エリグルスタット酒石酸塩、フィンゴリモド塩酸塩、シポニモドフマル酸塩を使用中の人
・閉塞隅角緑内障の人
・尿貯留傾向（尿が出にくい、尿の切れが悪いなど）のある人
・過去にジソピラミド徐放錠「VTRS」に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・基礎心疾患（心筋梗塞、弁膜症、心筋症など）のある人
・刺激伝導障害（房室ブロック、洞房ブロック、脚ブロックなど）のある人
・心房粗動のある人
・糖尿病を治療中の人
・重症筋無力症の人
・血液中のカリウムの量が少ない人
・開放隅角緑内障の人
・腎臓に障害のある人
・肝臓に障害のある人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬［スパルフロキサシン（スパラ）、モキシフロキサシン塩酸塩（アベロックス）、ラスクフロキサシン塩酸塩（注射剤）（ラスビック点滴静注キット）、トレミフェンクエン酸塩（フェアストン）、バルデナフィル塩酸塩水和物（レビトラ）、アミオダロン塩酸塩（注射剤）（アンカロン注）、エリグルスタット酒石酸塩（サデルガ）、フィンゴリモド塩酸塩（イムセラ、ジレニア）、シポニモドフマル酸塩（メーゼント）］や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。
この薬は、１回１錠を１日２回服用します。

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。気がついた時点ですぐに１回分を飲んでください。
ただし、次に飲む時間が近い場合には飲まないで、次に指示された時間から１回

分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

息が止まる、気を失う、胸がどきどきする、めまい、胸の痛み等の症状があらわれ、死に至ることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を服用中は、定期的な心電図、脈拍、血圧、心胸比、血液などの検査が行われます。受診日を守ってください。
・高齢の人、糖尿病の人、肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人、栄養状態の悪い人には重篤な低血糖（めまい、空腹感、ふらつき、手足のふるえ、脱力感、頭痛、動悸（どうき）、冷や汗）があらわれることがあります。患者や家族の方は低血糖症状の発現について十分理解できるまで説明を受けてください。
・低血糖症状が認められるものの、意識障害がない場合は、通常は砂糖を飲食してください。α－グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボースなど）を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。なお、意識が薄れてきた場合は、医師に連絡してください。
・低血糖症状の一つとして意識障害を起こす可能性もありますので、この薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
・尿が出にくい、口・のどの渇き、ものがだぶってみえるなどの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれたら、医師または薬剤師に連絡してください。
・高所作業や自動車などの運転中に、めまいや低血糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。
・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
心停止 しんていし	気を失う
心室細動 しんしつさいどう	気を失う
心室頻拍 しんしつひんぱく	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う

重大な副作用	主な自覚症状
Torsades de pointes トルサード ド ポアン	めまい、動悸、気を失う
心室粗動 しんしつそどう	気を失う
心房粗動 しんぼうそどう	動悸、胸の不快感、めまい
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
洞停止 どうていし	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
心不全悪化 しんふぜんあっか	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
麻痺性イレウス まひせいイレウス	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐（おうと）、お腹が張る
緑内障悪化 りょくないしょうあっか	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	突然の高熱、疲れやすい、顔や手足の筋肉がぴくつく、冷汗が出る、寒気、体がだるい、力が入らない、むくみ、体がかゆくなる、体重が増える、けいれん、食欲不振
頭部	めまい、気を失う、一時的にボーっとする、立ちくらみ、意識の低下、短時間、意識を失い倒れる
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる、目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
口や喉	喉の痛み、嘔吐、吐き気
胸部	動悸、息苦しい、胸の不快感、息切れ
腹部	お腹がすく、お腹が張る
手・足	脈が遅くなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる

部位	自覚症状
便	便やおならが出にくい
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

形状	フィルムコーティング錠
PTPシート	 表面 裏面
直径	10.0mm
厚さ	4.1mm
重さ	291mg
色	白色
識別コード	VLE 509 CR

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リン酸ジソピラミド
添加剤	乳糖水和物、モノステアリン酸グリセリン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、タルク、軽質無水ケイ酸、ヒプロメロース、マクロゴール6000、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社
販　売　会　社：ヴィアトリス製薬合同会社
メディカルインフォメーション部
フリーダイヤル　０１２０-４１９-０４３
受付時間：月～金　９時～１７時３０分
（土日祝および当社休業日を除く）